

決算報告書

第19期事業年度

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月 31日

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

令和4年度 決算報告書

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月 31日

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

(単位：百万円)

区 分	予 算	決 算	差 額	備 考
収入				
運営費交付金	26,302	27,090	788	(注1)
うち補正予算による追加	0	788	788	
施設整備費補助金	2,714	1,433	△ 1,281	(注2)
補助金等収入	1,729	1,772	43	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	33	33	0	
自己収入	124	307	183	
雑収入	124	307	183	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,030	4,394	1,364	(注5)
目的積立金取崩	279	741	462	(注6)
引当特定資産取崩	0	0	0	
計	34,211	35,770	1,559	
支出				
業務費	26,705	25,646	△ 1,058	
教育研究経費	26,705	25,646	△ 1,058	(注7)
施設整備費	2,747	1,466	△ 1,281	(注8)
補助金等	1,729	1,772	43	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,030	3,178	148	(注10)
計	34,211	32,063	△ 2,148	
収入－支出	0	3,707	3,707	

端数は四捨五入により整理されております。

なお、各項目の端数整理の関係から計が一致しない場合があります。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階で予定していなかった補正予算の交付を受けたことにより、予算額に比して決算額が 788 百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、年度内未完了により翌年度へ繰り越したこと等により、予算額に比して決算額が 1,281 百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の交付を受けたことにより、予算額に比して決算額が 43 百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、予算段階では予定していなかった野辺山 45m 電波望遠鏡が有料観測を開始したことなどによる収入の増加等により、予算額に比して決算額が 183 百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階での見込みよりも受託研究及び科研費間接経費による収入が多額となったこと等により、予算額に比して決算額が 1,364 百万円多額となっています。
- (注6) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった積立金を新たに計上したことにより、予算額に比して決算額が 462 百万円多額となっています。
- (注7) 教育研究経費については、翌年度以降の固定資産の購入に備えて減価償却引当特定資産を計上したことなどにより、予算額に比して決算額が 1,058 百万円少額となっています。
- (注8) 施設整備費については、(注2) に示した理由により、予算額に比して決算額が 1,281 百万円少額となっています。
- (注9) 補助金等については、(注3) に示した理由により、予算額に比して決算額が 43 百万円多額となっています。
- (注10) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、予算段階での見込みよりも受託研究及び科研費間接経費による収入が多額となったことに伴い執行が増加したこと等により、予算額に比して決算額が 148 百万円多額となっています。